



インフルエンザ警報継続中！！

大寒も過ぎましたが、まだまだ寒さが厳しい日が続きますね。体調を崩したりしていませんか？年末から増えているインフルエンザは減少傾向ではありますが、警報発令継続状態です。それに加えてコロナ感染、感染性胃腸炎など流行性感染症がじわじわと増えてきています。1月23日現在、神戸市感染症発生動向より定点医療機関報告を抜粋すると、

- 新型コロナウイルス感染症患者報告数は1月23日現在 152人(3.17/定点)から今週 188人(3.92/定点) 対先週比 1.24倍となっています。
- 今回、感染性胃腸炎罹患が増えてきており、定点当たり 7.48人と注意喚起レベルに迫る状況です。
- **インフルエンザは前回 1318人(27.46/定点)から今回 539人(11.23/定点) 対前回は0.41倍と減少傾向ではありますが、警報レベル継続基準(10人/定点)を超えている状況が続いています。**
起因株がA型からB型へ推移してきており、複数感染も懸念されます。

- ・ 感染性胃腸炎の起因の1つのノロウイルスは手指や食品などを介して経口感染し、嘔吐、下痢、腹痛などを引き起こします。患者の吐物や排泄物には大量のウイルスが排出されるため、汚染された箇所の消毒が重要です。また、アルコールが効かないため、石けんと流水による手洗いを心がけましょう。

・ 1月中旬 海外帰国者からデング熱感染者も報告されています。

春休みに入りますが、暖房などで換気が不十分となりやすい環境で過ごすことが多くなります。休み中に海外渡航を考えている方もいらっしゃるかもしれません。海外渡航をされる方は、渡航先の流行状況を確認し、肌の露出を避け、虫よけ剤の使用など蚊に刺されないための対策をとりましょう。また、海外からの旅行者も格段に増えている状況です。互いに感染媒体にならない為にも

感染予防対策（手洗い・うがい・マスク着用）は十分行ってください。

十分な休養とバランスのとれた栄養摂取を心がけ、体調不良の場合は外出を控え、感染拡大予防に注意をしてください。

POINT

- ☆ こまめな換気をしてください。
- ☆ 学内施設利用中および多人数が集まる場合は、マスク着用など咳エチケット・飛沫吸入予防対策をお願いします。
- ☆ 体調不良時の早めの医療機関受診をお願いします。
- ☆ 診断がついた場合は、速やかに罹患届を提出してください。